

[成果情報名]高温による開花期変動が少ない 8 月盆出荷用小ギク品種「春日 W3」の育成

[要約]8 月盆出荷作型において、高温条件と露地条件での開花期の差が小さく、かつ露地条件における開花期の年次変動が小さい新品種「春日 W3」を育成した。

[キーワード]安定出荷、育種、白色、品種登録出願

[担当]栽培・流通科

[分類]普及に移す技術

[背景・目的]

近年の温暖化傾向により、小ギクの 8 月盆出荷作型では開花が前後に変動し、収穫ピークが需要期に合致しない問題が起きている。そこで、高温の影響を受けにくく開花期の年次変動が小さい 8 月盆出荷用の品種を育成し、需要期の安定出荷に繋げる。

[成果の内容・特徴]

1. 「春日 W3」は「弓戸 6 号」を種子親、場内育成系統「27-21」を花粉親とした交配で得られた品種である。無加温ハウスにおける高温条件と露地条件での栽培を比較し、開花期の差が小さく、かつ露地条件における開花期の年次変動が小さいことを基準に選抜している。
2. 「春日 W3」は 4 月上～中旬定植の露地栽培（奈良県桜井市）で、安定して 7 月下旬に収穫できる。また、4 月中旬から 7 月下旬までの平均気温が露地よりも 1.3～1.7℃高い無加温ハウスの高温条件でも、既存品種に比べ収穫日の変動が小さい（表 1）。
3. 「春日 W3」は白色（RHS カラーチャート NN155D）一重咲きで、満開時の花径 35mm 程度、舌状花数 18 枚程度、頭花数 22 輪程度であり、頂花が正常開花する頂点咲き花房型の小ギクである（図 1）。茎伸長性に優れているため約 100cm 以上の切り花長が確保できる。一方で、調整後の切り花重は「シューペガサス」に比べ 30g 未満の階級が多い（図 2）。

[成果の活用面・留意点]

1. 「春日 W3」の利用については奈良県との利用許諾契約の締結が必要で、出願公表中は奈良県内のみの利用に限定されている。
2. 平群町で採取したキク白さび病 2 菌株に対して抵抗性を示し、同病害発生圃場でも発病は確認されていない。
3. これまでに「春日 W3」と同様の基準で育成した赤色品種の「春日の紅」、「春日の鈴音」、黄色品種の「春日 Y2」と併せて栽培することで、色バランスを保ちつつ盆時期に安定して出荷することができる。

[具体的データ]

表1 「春日W3」の切り花特性

品種	調査年	対照区収穫日 (月/日)	高温区収穫日 (月/日)	対照区と 高温区の差(日)	切花長 (cm)	節数 (節)	頭花数 (輪)	切り花 調整重(g)
春日W3	2024	7/27	7/22	-5.2	109	42	22	27
	2023	7/31	7/31	-0.3	104	46	20	28
	2022	7/29	7/30	1.5	102	47	18	-
アクア	2024	7/12	7/27	15.1	89	29	14	34
	2023	7/20	7/16	-3.9	82	33	16	36
	2022	7/21	7/20	-1.5	83	32	16	-
シュュー ペガサス	2024	7/24	7/25	0.9	84	37	13	34
	2023	7/28	7/30	2.9	75	39	15	33
	2022	7/30	7/25	-4.7	75	40	13	-
白波	2024	7/19	7/20	0.7	83	32	14	24
	2023	7/24	8/2	8.8	79	38	20	32
	2022	7/23	8/1	9.1	88	38	22	-

地際から10cm上で採取し、切花品質を調査
2024年、2023年は頂花の舌状花が色を示し、かつ開き始める前、2022年は管状花最外列の開葯時にそれぞれ収穫しているため、この間を4日と仮定し、2022年の収穫日データは調査日から4日前の値を示す
切り花調整重は切り花長75cm、下葉脱葉15cmに調整した重さ
定植日：2024年4月11、12日(2024年開花)、2023年4月11、12日(2023年開花)、2022年4月11日(2022年開花)
栽培概要：植床幅60cm、条間36cm、株間12cmの2条植え
N-P-K＝28.0-25.0-25.0kg/10a(2024年開花)、27.9-22.6-25.0kg/10a(2023年開花)、28.0-21.4-25.0kg/10a(2022年開花)
高温処理：各年とも定植から収穫終了までハウス天井部に農POを展張



図1 「春日 W3」の草姿と頭花の形状

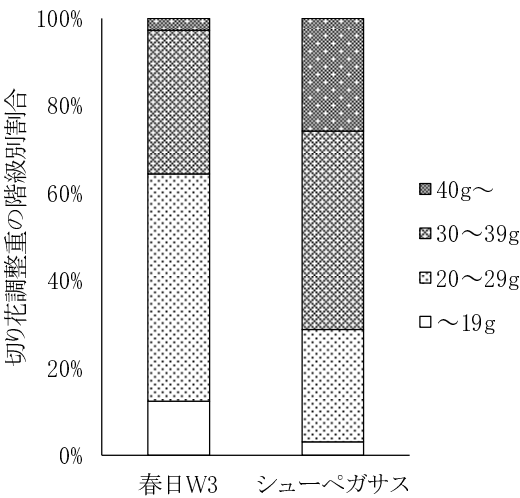


図2 「春日 W3」および「シュューペガサス」の切り花調整重の階級別割合

2024年の露地栽培における「春日 W3」40株、「シュューペガサス」20株に対し、切り花長75cm、下葉脱葉15cmに調整した重さを測定

[その他]

研究課題名：需要期に安定して開花する小ギクの新品種育成
予算区分・研究期間：県単（2019～2024年度）
研究担当者：武田偉吹、原田優生、辻本直樹、虎太有里、印田清秀
発表誌等：「春日 W3」品種登録出願公表 2026 年 1 月 29 日（第 38238 号）